

入院診療計画書 呼吸器外科化学療法（ 療法）を受けられる方へ）

ID番号 @PATIENTID
病名（他に考える病名）：

氏名 @PATIENTNAME 様

@PATIENTWARD
症状：

病棟

@PATIENTROOM

号室

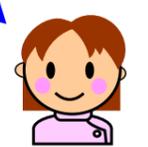
担当医師： @USERNAME

印

担当看護師：

担当薬剤師：

@SYSDATE

月日	月 日	月 日	月 日～ 月 日	月 日	月 日	
経過	入院日	入院1日目（治療1回目）	入院2日目～6日目	入院7日目	入院8日目（治療2回目）退院	
目標	化学療法の内容や、副作用について理解することができる。	化学療法が安全に実施できる。		退院後の生活上の注意点について理解できる。	化学療法が安全に実施でき、退院できる。	
検査	血液、尿検査、レントゲン検査 			血液検査、尿検査、レントゲン検査 		
治療・処置		ご自身でも、体調管理ノートへ血圧や体温、食事量、体重、副作用の程度などを記録し、体調管理に努めましょう。				
観察	体温・脈拍・血圧測定 食事摂取量や副作用の程度を確認します。					
注射		肺腫瘍に対する点滴をします。 			肺腫瘍に対する点滴をします。 	
内服	薬剤師と看護師が内服薬を確認します。お薬手帳、または処方箋のコピーをお見せ下さい。		治療後1日目～3日目まで副作用予防のための薬を内服します。 			
食事	食事の制限はありません。食べやすいものを召し上がって下さい。希望により食事内容の変更も可能です。	食事のあとは、必ず歯を磨き、1日1回はお口の中の状態を鏡で見て観察しましょう。 				
生活・行動	行動制限はありません。身体の清潔を保つために毎日入浴しましょう。食前のうがい・手洗い・手指アルコール消毒を心がけましょう。	点滴の時間に合わせながら入浴も可能です。				
説明	看護師から入院生活や化学療法の副作用についての説明があります。薬剤師からは、持参薬の確認と、治療薬の説明があります。	点滴をしている時は・・・ ・動く時に点滴の管を引っ張ったり、引っ掛けたり、身体の下に敷かないように注意しましょう。 ・点滴をしている腕を衣類の袖や腕時計などで締めつけないように気をつけましょう。 		こんな時は看護師にお知らせ下さい！ ① 点滴周囲の不快感、やけるような感じ、違和感、圧迫感、しびれ、痛みがある ② 点滴の先端部に発赤・はれがある ③ 点滴の落ち（滴下）が悪い ④ 絆創膏がはがれかかっている ※数時間から数日たってから抜去部位に症状が出る場合もあります。放置すると症状を悪化させることがありますので、変化が見られた際はすぐにお知らせ下さい。		看護師より退院後の自宅療法での注意点についての説明があります。

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

福島県立医科大学附属病院 バス承認番号 (No.241-2) 承認月日 (平成28年11月2日)

特別な栄養管理の必要性
有 ・ 無

上記内容について説明を受け同意いたしました。

署名：

続柄：